

湯前小学校 校長室だより		令和4年 4月28日 第2号 文責 吉村 和仁
---------------------	--	----------------------------------

○自分の命は、自分で守る。

4月22日（金）に、交通安全教室を実施しました。

今年度も多良木警察署（湯前派出所）、交通安全母の会、民生・児童委員、社会福祉協議会の皆様にご協力をいただき、有意義な学習をすることができました。

1・2年生は、実際に学校の周辺を歩き、道路を歩く時の注意や横断するときの行動などを具体的に教えていただきました。交差点では、立ち止まり、左右、前後の安全を確認し、横断することができました。

3～6年生は、コースを自転車で走って、安全な運転について学習しました。（自転車準備ができなかった児童は、自転車の乗車を想定した学習）見通しの悪い場所での確認や横断歩道の横断の仕方など、実際の道路と同じように学習することができました。

私は、朝から、校門前で登校指導をしています。横断旗を使って、児童を横断させていますが、このことが児童にとって本当によいことなのか疑問を持っています。それというのも、児童によっては、前の児童につながって、左右の確認もしないで横断する時もあるからです。児童の危険予測能力、危険回避能力の芽を摘んでしまっているのではないかと不安もあります。

いずれにしても、交通ルールを守るという社会性と、自分の命は自分で守るという危機管理能力は育てていかなければなりません。

間もなく、ゴールデンウィークを迎えます。ご家庭でも交通安全について、話題にしていただければ幸いです。

○家庭訪問は大変お世話になりました。

家庭訪問では、ご多用な中に、温かくお迎えいただき誠にありがとうございました。皆様のご期待にお応えできるように、職員一丸となって取り組んでいく所存です。よろしく願います。また、PTA総会も大変お世話になりました。

○台湾「興達国民学校」との交流会（第2弾）

4月26日は、現6年にとって5年時に引き続き、2回目の興達国民学校との交流会となりました。言葉の壁、文化の壁を乗り越えて、互いに理解し合おうとする姿を見ると、本当に嬉しくなります。今のところ、この交流が、次は現5年にも引き継がれそうで、喜ばしい限りです。

直接、相手と関わりをもったことで、児童には「台湾」がより自分にとって身近で、意味のある存在になったと思います。国際理解に限らず、相手を理解するという事は、相手と自分との「特別なつながり」をつくることではないかと思えます。興達国民学校に感謝です。「謝謝」